

■ 課題

中部地区における市営住宅について

■ 内容

人口減少が著しいため、新しく人が入って来やすいように、中部地区にも活性化住宅を建設してほしい。

■ 回答

別子山地域は過疎地域持続的発展計画で、毎年度2人の移住を目標としています。

現在、支所が「地域おこし協力隊」を募集中ですが、活性化住宅も借家も空きが無いという状況が想定されます。

同計画では、新たな移住の受け皿となる住宅が不足するときは、活性化推進住宅を新たに整備するとしておりますが、支所では、活性化住宅の建設について、資料を作成中です。その中で、空き家が活用できないか、建てるとしたら何戸前建てなのか、また、建築する場所も、災害の危険がなるべく無い場所であったり、水道施設の給水が可能かどうかなど検討する必要があります。

中部地区につきましては、土地が無いことだけでなく、水道の給水キャパシティーの問題から、建築は困難であると考えておりますが、別子山地域における活性化住宅建築の必要性について、既存住宅の活用を含めて検討してまいります。

（別子山支所）

■ 課題

有害鳥獣の駆除

■ 内容

鹿や猿に畑が荒らされている被害が多発しているため、早急に駆除してほしい。

■ 回答

捕獲については、許可等の事務を行っていますが、市として直接の捕獲活動は実施しておりません。つきましては、捕獲の依頼は地域の狩猟免許所持者に直接ご相談いただきますようお願い申し上げます。

また、ニホンジカ、ニホンザル等の被害に対しては、防護柵の設置が有効な解決手段となります。特に猿には電気柵が効果的です。なお、防護柵資材購入費用の一部を補助しておりますので、設置のご要望がありましたら、資材購入前にご相談をお願いします。

（農林水産課）

■ 課題

物住谷橋付近の側溝のつまり

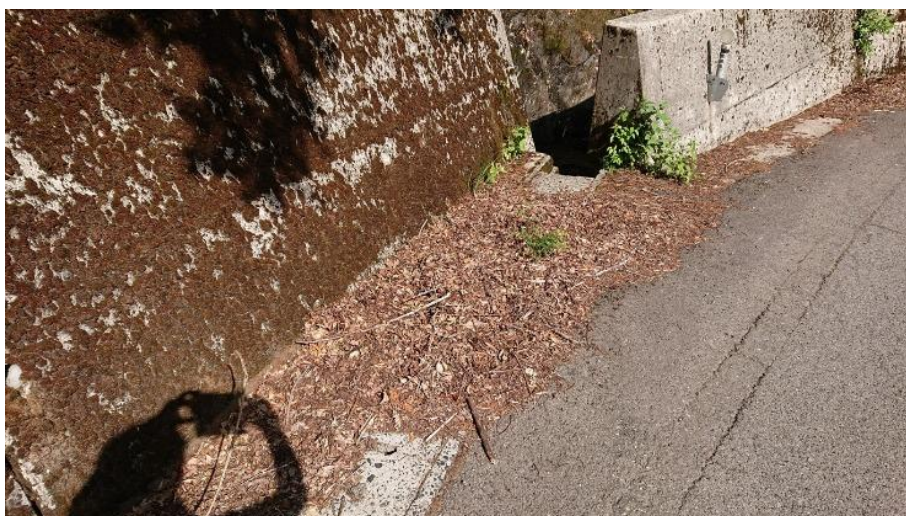
■ 内容

物住谷橋付近の側溝が詰まり、道路に水が流れているため、土砂等の撤去をしてほしい。

■ 回答

道路管理者である愛媛県に問い合わせたところ、次の回答をいただきました。  
「現地を調査し、側溝の清掃等により原因除去を行います。（2～3 か月以内を予定）」

（道路課）



## 令和4年度（別子校区）まちづくりタウンミーティング 文書回答

### ■ 課題

#### 道路清掃

### ■ 内容

県道131号、林道がぞう線、蔭地線、大湯線について、特に大雨や台風のあと道路清掃を対応してほしい。

### ■ 回答

県道131号については、管理者が愛媛県となるため、問い合わせをしたところ、次の回答をいただきました。

「落葉・枝の程度がひどく、通行に支障がある場合は清掃を行います。県の道路パトロールのみでは状況を把握しきれない場合がありますので、通行に支障がある場合は、お手数ですが東予地方局道路課まで情報提供をお願いします。」

なお、連絡先については、別子山支所または市役所道路課も窓口となっておりますので、ご連絡ください。（道路課）

今年度から日常の維持管理に関する予算が、昨年度より増額しましたので、市道・林道の草刈りについては、今までより範囲を拡げて、2回実施する予定としております。この草刈りにおいて、プロアでの清掃も実施します。また、側溝清掃や通行の支障となる枝の剪定なども範囲を増やす予定です。

大雨や台風のあとは、パトロールを行い、支障となる石や枝を除去し、通行に支障がないように管理をしていきますので、ご理解をお願いします。

（道路課、別子山支所）

### ■ 課題

#### 飲料水配管パイプのへこみ

### ■ 内容

がぞう線石鎚のところの飲料水配管パイプのへこみを修理し、古いものを取り替えてほしい。

### ■ 回答

パイプ修理が必要な箇所を確認したので、修繕しました。

（別子山支所）

■ 課題

中藪谷(新店の上)落石

■ 内容

中藪谷に落石が多いため、調査してほしい。

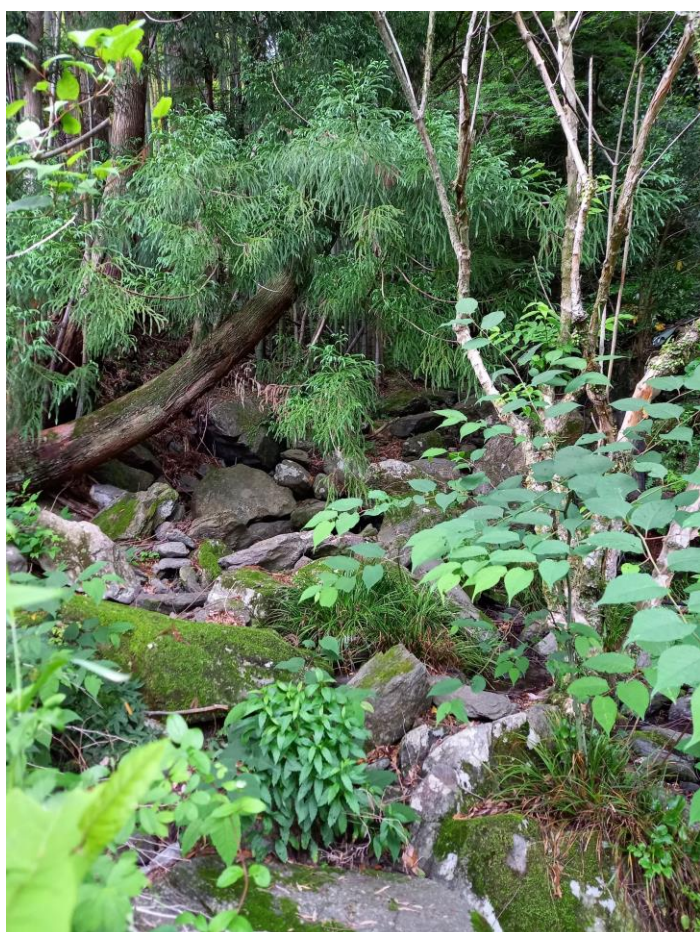
■ 回答

【地方局からの回答】

7月14日に現地で調査は行いましたが、当日伺った要望については、これから検討してまいります。

なお、土石流危険渓流・中藪谷川は、平成30年度に地形等の調査を実施した結果を踏まえて、令和3年5月に土砂災害のおそれがある区域として土砂災害警戒区域・土砂災害警戒特別区域の指定を行っております。愛媛県ホームページや新居浜市防災マップにおいて、中藪谷川以外の土砂災害警戒区域等も含めて危険箇所をご確認いただけますので、地域の皆様におかれましても、土砂災害から身を守るために「日頃の備え」と「早めの避難」を心掛けていただきますよう、よろしくお願いいたします。

(河川水路課)



■ 課題

### 筏津坑記念公園

■ 内容

住友金属鉱山別子事業所、筏津坑事業所300年の歴史を支えて来た跡地一帯を筏津坑記念公園として、蘇らせて別子山のパンダ的な役割を担い、跡地一帯に垂れ桜100本、紅葉30本、銀杏20本、ツツジ100株等のような樹木を植樹し、又農産物の販売やキッチンカー等による軽飲料販売を可能にしてほしい。

■ 回答

筏津坑道周辺につきましては、現在、登山客、筏津坑道に訪れる方のための駐車場及びトイレを整備することとしています。駐車場の真ん中には、旧筏津山荘時からある木を残した設計になっています。

現状では、樹木の植樹は計画しておりませんが、農産物の販売やキッチンカー等による販売等の利活用につきましては、今後実施する方がおられましたら、前向きに協議していきたいと考えております。

（観光物産課）

■ 課題

### 光ケーブルの配信

■ 内容

現在光ケーブル配信は成の集落迄配信されているが、同じ自治会員である蔭地、竹ケ市、大元、横道は配信されていないので解決を早期にしてほしい。

■ 回答

平成21年・23年度に、国の補助金及び過疎債を活用し、別子山地区ブロードバンド整備事業（インターネットサービス）を行い、幹線経路として光ケーブルと同軸ケーブルの整備を行いました。整備前に利用希望者を募り、工事の際には対象世帯まで同軸ケーブルの引き込みを行うとともに、幹線路から距離がある世帯に対しては、衛星ブロードバンドサービスの整備を行いました。

前回の整備から10年以上が経過しておりますので、新たに有線インターネットサービスへの加入を希望する世帯について調査を行い、どのような整備が可能か検討してまいります。

（ICT 戦略課）